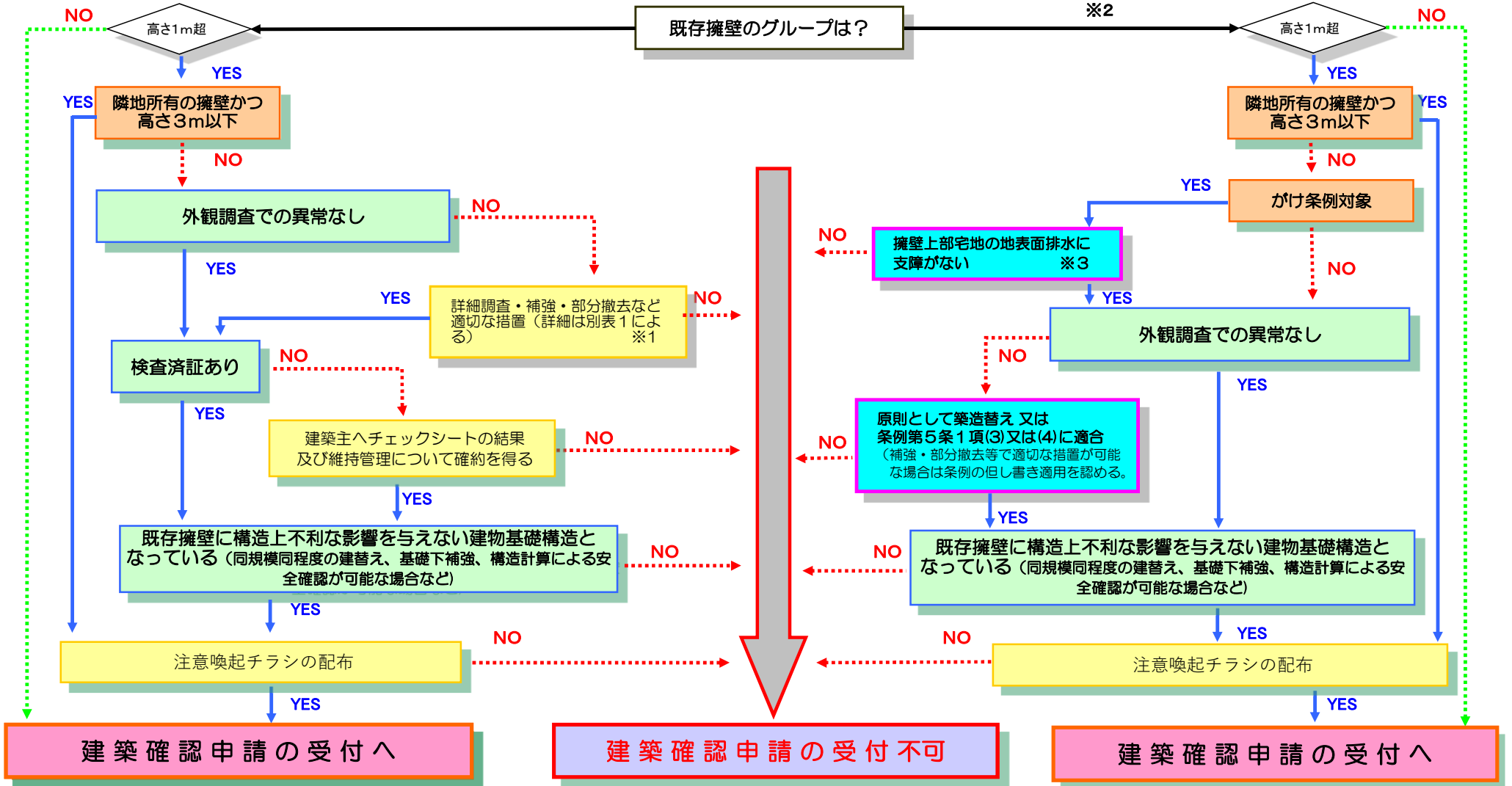


確認申請時の既存擁壁取り扱いフロー

Aグループ (RC造、重力式、練積み等)

Bグループ (玉石等の空石積、2段、増積み等)

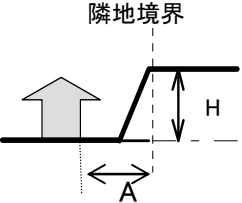
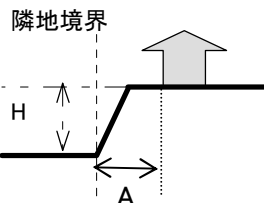
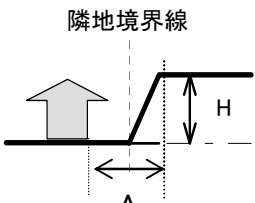
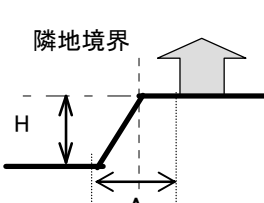
※2



- ※1 「適切な措置」とは、外観状況チェックシートで「異常なし」となる措置
- ※2 コンクリートブロック積擁壁で高さ1mを超えるものは原則築造替えを行う (福岡市確認申請の手引きによる)
- ※3 擁壁所有者擁壁の場合の対応
隣地擁壁所有者へ「注意喚起チラシ」の配布

●外観調査で異状があった場合の対応方法まとめ

H22.10月 作成

		自己所有		隣地所有	
		がけの下	がけの上	がけの下	がけの上
〈がけ条例〉					
Aグループ	対象	①又は②又は⑤	①又は②+④	⑤かつ⑥	④かつ⑥
	対象外	①又は②又は⑤	①又は②	⑥	⑥
Bグループ	対象	③又は②+⑤	③又は②+④	⑤かつ⑥	④かつ⑥
	対象外	③又は②+⑤	③又は②+④	⑥	⑥

【対応メニュー】

- ① 詳細な調査による安全確認 (具体的な方法は個別判断)
- ② 補強、部分撤去など適正な措置 (具体的な方法は個別判断)
- ③ 築造替え ただし②が可能と判断できれば条例の適用を認める
- ④ 条例第5条1項(3)に適合 (がけ上に建築する場合:がけが崩壊しても建物は安全と認められる)
- ⑤ 条例第5条1項(4)に適合 (がけ下に建築する場合:がけの崩壊に伴う土砂の流入に対し建物は安全と認められる)
- ⑥ 擁壁所有者へ「注意喚起チラシ」を配布